LIRIS株式会社

LIRIS CLM、独自開発の「LIRIS OCR」搭載により文字認識精度が大幅に向上、読み取り後の確認・修正の手間を軽減

手書きやゴム印の文字、二段組みや割付の契約書も正確に読み取り、契約情報の登録や管理をより正確かつ効率的に行えるようになりました。

LIRIS株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：鈴木秀幸）は、契約業務プラットフォーム「LIRIS CLM」に、契約書などの日本語のビジネス文書の読み取りに特化した独自開発のOCR（光学文字認識）「LIRIS OCR」を搭載しました。

LIRIS OCRは、印刷された文字に加え、手書きの日付や金額、ゴム印で押された社名・住所などが混在する文書にも対応しています。また、二段組みや割付、罫線を含む表など、複雑なレイアウトの文書についても、文章の読み取り順序や表の構造を考慮してデータ化します。

これにより、従来のOCRでは読み取りが難しかった文字や文書の認識精度が向上し、読み取り結果の確認・修正にかかる手間を軽減します。契約情報の登録や管理を、より正確かつ効率的に行うことが可能になります。



■ 提供の背景

契約書などのビジネス文書には、印刷された本文に加え、手書きの日付や金額、ゴム印で押された社名や住所など、さまざまな形式の文字が含まれています。また、二段組みの条文や罫線を含む表、複数ページを1枚にまとめた割付など、文書のレイアウトも多様です。

こうした文書をOCRでデータ化する際には、文字を正確に認識するだけでなく、文章の読み取り順序や表の構造を適切に把握することが求められます。

LIRIS CLMで従来利用していたOCRでは、手書き文字やゴム印の文字を読み落としたり、二段組みや割付の文書で読み取り順序を誤ったりすることがありました。そのため、OCRでデータ化した後も、原本との照合や読み取り結果の修正に手間がかかるという課題もありました。

こうした課題を解決し、実際の契約業務で扱われる多様な文書をより正確にデータ化するため、独自のアルゴリズムを用いた「LIRIS OCR」を開発しました。

■ LIRIS OCRの特長

1. 手書き文字やゴム印にも対応し、確認・修正の手間を軽減

印刷された文字だけでなく、手書きで記入された氏名・住所・日付・金額や、ゴム印で押された社名・住所なども読み取ることができます。従来のOCRでは認識が難しかった文字の読み取り精度を高めることで、原本との照合や読み取り結果の修正にかかる手間を軽減します。

2. 二段組みや割付の文書も、文章の順序を保ってデータ化

二段組みの契約書は段ごとに、複数ページを1枚にまとめた割付の契約書はページごとに、文章を読む順序を判定してデータ化します。これにより、隣接する段の文章が混在したり、ページの順序が入れ替わったりすることを抑え、契約期間や更新条件などを定めた条文も、文章のつながりを保ったまま読み取ることができます。

3. 罫線を含む表では、文字を行・列に分けて読み取り

表形式の契約書や、料金表など一部に表が組み込まれた契約書についても、行と列の構造を維持して読み取ることができます。金額や日付など、それぞれに対応する項目との関係を保つことで、表に記載された情報を正確に抽出することができます。

4. 契約書のプレビュー画面上で、本文の文字検索が可能

LIRIS CLMでは、紙の契約書をスキャンした場合でも、OCRで読み取った文字情報をPDFに埋め込むことで、契約書のプレビュー画面上で本文の文字を検索できます。手書きの氏名やゴム印の社名などの認識精度も向上したため、検索時の文字の取りこぼしを減らすことができます。

■ 読み取り精度の検証結果

LIRIS OCRの読み取り性能を確認するため、手書き文字やゴム印、二段組みや割付などを含む契約書を用いた精度検証を実施しました。

LIRIS CLMで従来利用していた他社製OCRと同一の正解データを用いて比較した結果、検証対象の契約書における文字認識精度は、従来のOCRが80.9%であったのに対し、LIRIS OCRは98.7%となり、大幅な向上が確認されました（読み取り順序の誤りも含めた認識精度は、LIRIS OCRが97.8%、従来のOCRが72.7%）。

※2026年11月、当社調べ。従来のOCRは、LIRIS CLMで利用していた業界大手の他社製OCR。
※文字認識精度は、100%から文字の誤り率を差し引いた値。PDFから抽出した文字を行の位置に基づいて正解データと照合。

■ 今後の展開

LIRIS OCRは、現在、契約業務プラットフォーム「LIRIS CLM」の一機能として提供しています。今後は、契約書に限らず、さまざまなビジネス文書のデータ化にも活用できる技術として、既存のOCRの読み取り精度に課題を抱える企業などに向けた、独立したOCRサービスとしての提供も検討しています。

LIRIS OCRを搭載した「LIRIS CLM」の導入や、契約書のデータ化・管理に関するご相談は、当社お問い合わせ窓口より受け付けております。また、OCR単体での利用に関するご相談についても、お気軽にお問い合わせください。

■ 開発を担当した取締役 田村 陵大のコメント

「これまでLIRIS CLMに搭載するOCRを選定するにあたり、さまざまなOCRサービスを試してきました。しかし、手書き文字やゴム印、二段組みや割付、表などが含まれる実際の契約書では、期待する読み取り精度を得ることができませんでした。そこで、既存のサービスで十分に対応できないのであれば、自分たちで開発しようと考え、LIRIS OCRの開発に着手しました。

開発にあたって重視したのは、単に文字を認識するだけでなく、実際の業務で扱われる多様な形式の文書を正確に読み取り、確認や修正にかかる負担を減らすことです。これまで当社で培ってきた技術やノウハウを活用し、実務での使いやすさを意識したOCRを開発することができました。

AIの活用が広がる中、紙の文書に記載された情報を正確にデータ化することの重要性は、ますます高まっていると考えています。まずはLIRIS CLMを通じて契約業務の効率化に貢献するとともに、将来的には、より幅広い業務や業界で活用いただける技術へと発展させていきたいと考えています。」

■ 「LIRIS CLM」について

「LIRIS 契約ライフサイクルマネジメント（LIRIS CLM）」は、契約書の作成、依頼、承認、締結、管理・分析まで、契約業務の全プロセスを一元的に管理できる企業向け契約業務プラットフォームです。契約業務の一元化と業務フローに応じたプロセス設計、AIによる契約情報の自動抽出、進捗状況や契約データの可視化・分析等により、契約業務の効率化とガバナンスの
向上を実現し、企業の意思決定と事業成長を支援します。
URL：https://clmlp.liris.co.jp/

■ LIRIS株式会社 会社概要

会社名：LIRIS株式会社（読み：ライリス）
所在地：東京都港区西新橋1-6-12 アイオス虎ノ門3F
代表者：代表取締役社長　鈴木 秀幸
事業内容：DX・AIサービスの開発等
コーポレートサイト：https://liris.co.jp/
サービスサイト：https://clmlp.liris.co.jp/

■ 本件に関するお問い合わせ先

LIRIS株式会社 広報担当
お問い合わせ窓口：https://clmlp.liris.co.jp/contact

LIRIS株式会社のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/44110